

輪 あ そ び 律 動

Measures 1-4 of the piano accompaniment. The right hand features a steady eighth-note melody, while the left hand provides a rhythmic accompaniment with chords and single notes.

Measures 5-8 of the piano accompaniment. The right hand continues the eighth-note melody, and the left hand introduces a bass line with a flat (B-flat) in measure 5.

Measures 9-12 of the piano accompaniment. The right hand melody continues, and the left hand accompaniment features a mix of chords and moving lines.

Measures 13-16 of the piano accompaniment. The right hand melody continues, and the left hand accompaniment includes a bass line with a flat (B-flat) in measure 13.

Measures 17-20 of the piano accompaniment. The right hand melody continues, and the left hand accompaniment features a mix of chords and moving lines.

Measures 21-24 of the piano accompaniment. The right hand melody continues, and the left hand accompaniment features a mix of chords and moving lines.

輪 あ そ び

土川五郎振

この遊戯に用ふる輪は籐にて直經一尺乃至一尺二寸位の輪を適當とす、或はこれに紅白二種の布を巻き紅を奇生白を偶生に持たしむるもよし。

第一、1……左足一步前につま先を床につけ兩手にて輪の兩側を持ち其一端を下げてつま先に近く出し

直ちに左足を引き輪を胸にとる（兩脇を兩側に引きて）

2……右足を前に輪の一端を右つま先に近く出し直ちに右足を引き輪を胸にとる。

3……奇偶兩生顔を向け輪を顔の前において互にのぞき輪を體前に持來り正面となる。

4……反對の生徒と顔を向き合せ輪をあげてのぞく。

5 6 7 8……「1 2 3 4」と同じことを繰返す。

9……左足一步前に體重を托し兩手に兩側を持てる輪を斜左上方にあげ顔を少しく上に向けて輪と相對する如くす。此運動は兩手を十分に伸ばすにあり。

10……右足一步前に「9」と同じくして輪を斜右上方にあげ顔を相對す。

11 12 ……「9 10」と同じ。

13 ……左足を十分に後ろに引くとき輪を體前下方より左上方（左腕を曲げ前膊を左肩の上に立て右手は腕を曲げて輪を握りたる手先を左肩の前にあぐ）にあげ輪を立つ様にかかげ右肩を下げ右肩より右足先の方へ顔を向く。

14 ……右足を大きく一步引き輪を體前下方より右上に引きあげ右手は「13」の左手と同じく右肩の上左手は右肩前に輪を握りて立てる。

15 16 ……「13 14」と同じくして二歩後退す。

17 18 ……奇偶兩生相對して後左へ三步駈足にて行き右に向きて奇偶兩生離れて相對す（此の時右手に輪をさげて兩手を振りつゝ駈足す）

19 20 ……兩手に持てる輪を顔の前にかげ之れより相手の方をのぞきつゝ兩手を互にあげさげすること三回。

21 22 ……右方へ駈足三步前と同じ。

23 24 ……左向きにて相對し輪を顔の前にして「19 20」と同じくす。

第二、

1 2 ……全生正面となり兩手に握れる輪を胸の前に（左右前膊が平らに前に出ずる様に）して右手左手

を交互に上下しつゝ四歩前進す。

3 4 ……同じくして四歩後退す。

5 ……左足を斜左前に大きく一步踏み出し輪を持てる兩手を斜左前（平らかに）突出す。

6 ……左足を引くと共に輪を胸に取る（兩腕を兩側に引きて）

7 ……右足を斜右前に大きく一步踏み出し兩手を斜右前に突き出す。

8 ……右足を引き輪を胸にとる。

9 ……左向をなし輪を胸にして駈足二歩。

10 ……前半小節 ……駈足更に一步。

後半節 ……左足に體重を托し上體を前に傾け輪を持てる兩手を前下方に突出す。

11 ……右足（後方の足）つま立てたるまゝ兩手に持てる輪を（手は曲げずに）頭上にあげ上體を後ろに
そる如くして輪の方へ顔を向く。

12 ……10節の後半節と同じく上體を前に屈し兩手は伸したるまゝ輪を前下方に出したる姿勢となる。

13 ……廻れ右をなし左足より駈足二歩。

14 ……前半節 ……更に一步。

後半節 ……「10」の後半節と同じくす。

- 15 ……「11」と同じくして輪を頭上にあげて上體を後に傾く。
- 16 ……上體を前に屈し、上げたる兩手を曲ぐる事なく前下方に輪を突き出す如き姿勢となる。
- 17 18 ……兩生相對し左へ三步駈足（輪を右手に下げて）右向して相對す。
- 19 ……輪を持てる兩手を頭上に上げて肘を曲げて輪をかぶる（頭を通して頸迄輪を下ぐ）
- 20 ……右足を引き禮をなしつゝ輪を持ちあげ頭より抜き前下方に下ぐ。
- 21 22 ……右方へ第一の如く駈足、前と同じく相對す。
- 23 24 ……右足を引き禮をなしつゝ輪をかぶし次に輪を抜きて前下方に下ぐ。

三ヶ月やふはりと梅に鶯が

茶